

三菱自動車、『MITSUBISHI XRT Concept』を第44回バンコク国際モーターショー2023に参考出品

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、2023年度内に投入を予定している新型ピックアップトラック『トライトン』*1のコンセプトカー『MITSUBISHI XRT Concept』を、本日から開催される第44回バンコク国際モーターショー2023*2に参考出品します。

*1：『トライトン』は一部の国・地域では『L200』として販売

*2：3月21日がプレステー、一般公開は翌22日から4月2日まで



『MITSUBISHI XRT Concept』

ピックアップトラック『トライトン』は三菱自動車の最量販モデルで、タイのレムチャバン工場生産し、世界約150カ国へ輸出している世界戦略車です。約9年ぶりの全面改良によって6代目となる新型『トライトン』は、2023年度内にタイで発売した後、アセアンやオセアニアなどに順次展開を拡大していく計画です。

今回の『MITSUBISHI XRT Concept』は新型『トライトン』のコンセプトカーで、存在感のある精悍な表情と厚みのあるフードから繋がる水平基調で力強いシルエットのスタイリングをベースに、前後オーバーフェンダーやマッドテレインタイヤなどを装着し、過酷なラリーを走破する力強さ、大地を疾走する躍動感を与えています。また、ボディ全体を噴き出す溶岩のエネルギーを内包する岩石をモチーフにした、力強いカモフラージュ・パターンとし、サイドにはラリーアートのブランドアイコンである10本線のグラフィックを配して三菱自動車の走りにかける情熱を表現しています。

三菱自動車が技術支援するチーム三菱ラリーアートは、新型『トライトン』の改造クロスカントリー車両（T1仕様）でアジアクロスカントリーラリー2023*3に大会2連覇を目指して参戦する計画です。総監督は2002～2003年のダカールラリーで2連覇した三菱自動車の増岡浩が引き続き務め、エンジニアが事前テストやラリー本番に帯同してサポートします。三菱自動車は、ラリーを通じて得たノウハウを市販車にフィードバックし、どんな天候や路面でも安心して楽しめる三菱自動車らしいクルマづくりを推進します。

*3：アジアクロスカントリーラリーは27回の開催実績を持つアセアン最大規模のクロスカントリーラリーイベントで、今年は8月中旬、タイを中心にラオスへ至る総走行距離2,000km以上の過酷なコースで競われる予定

当社社長の加藤 隆雄のコメント

「2023 年度は『トライトン』の全面改良や新型コンパクト SUV の投入など、アセアン事業を加速させていく重要な年です。新型『トライトン』は世界中で厳しい耐久試験を実施するとともにラリーでの知見も生かされており、順調に仕上がっています。これらの新型車の投入を軸にさらなる成長に向けて邁進してまいりますので、これからの三菱自動車にどうぞご期待ください」

以 上